

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	北海道教育大学 旭川校	個人・ グループ名	加藤 圭祐	作品名	無垢リビングテーブル
-----	----------------	--------------	-------	-----	------------

◆製作の動機

家の中の家具で無垢材を材料として作られた家具が一つもなく、木の温かみが欲しいと感じ無垢材を用いた家具を製作したいと考えた。リビングテーブルは使用頻度も多く、場所による制限もあまりないので選んだ。また、無垢材の良さが甲板なら最大限生かされるのではないかと思い製作した。

◆利用方法

食事やパソコン、勉強で使うことを想定した。リモコンや雑誌などの収納もできる。

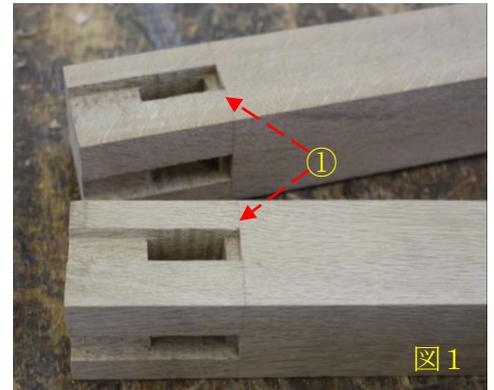


図1

◆寸法

W=1200 D=550 H=400 (脚間=920)

◆材料

- タモ材…甲板
- ナラ材…脚、幕板、引き出し枠
- シナ合板…引き出し底板
- 塗装…ワシン油性ウレタンニス (透明)



図2

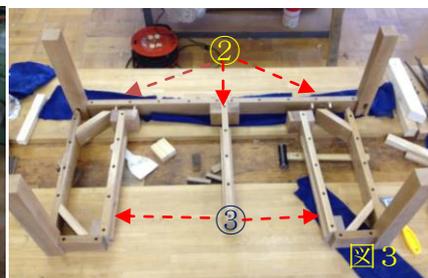


図3

◆工夫点

工夫点は主に3点ある。

1点目は、甲板の幅はぎを雇い実接ぎ(図5-④)で接合したことである。ビスケットジョイントでの接合も考えたが、以前も行ったことがあり、かつ断面の接ぎ目もデザイン性が高く、強度も高められるため雇い実接ぎでの接合にチャレンジした。板溝の深さの調節や旗金での締め付け作業で苦勞したが、何とか接合することができた。

2点目は、引き出し(図7)である。引き出しはテーブルの上にもものを置かず、すっきりさせられるようにリモコンや雑誌、ペンなどを多く収納できるようにと思い2つ設置した。また、引き出しが閉じているときには木の良さが損なわれないよう幕板部分に引き出しを設けた。引き出しの化粧板と幕板(図6-⑤)は一枚の板から材料を取り、ナラ材の美しい模様が繋がるようにした。

3点目は、脚の枠のつなぎ方である。脚と外側の幕板は組み手でつなぎ(図1-①)、内部の幕板は2枚ホゾ(図3-②)でつないでいる。内部の幕板には、ナラ材の凸パーツ(図3-③)で引き出しの溝が取り付けられている。極力金具を使わずに、木で作ることを重視した。



図4

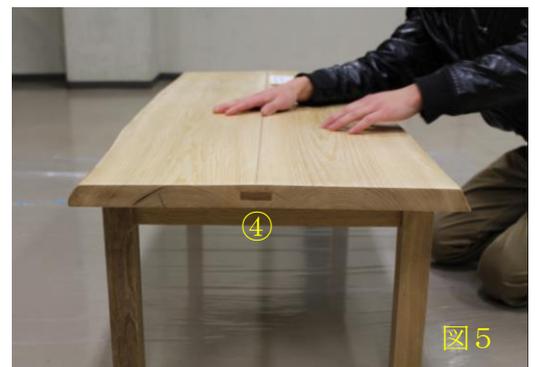


図5

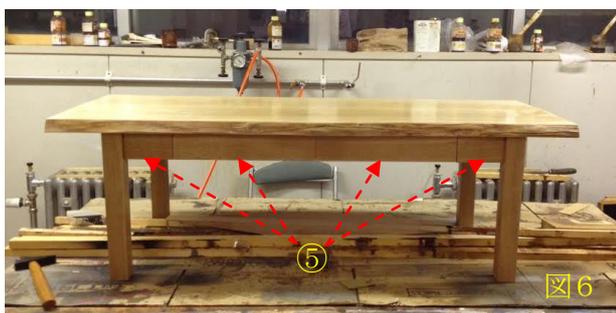


図6



図7